

令和5年度 津久井支援学校 第4回学校運営協議会 議事録

日 時	令和5年3月5日（火）9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立津久井支援学校 3階 会議室
出 席	学校運営協議会委員8名 事務局8名
問合せ先	副校長 藤原 英明 電話 042-684-4872（直通）
<p>1 校長挨拶</p> <p>これまでのご助言やご提案いただいたことを生かして学校運営を進めてきました。今回は4回目となりますが、忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと考えております。また、つくいだよりも掲載しておりますが、児童・生徒の学習やスポーツ大会の取組で表彰されておりますのでご紹介させていただきます。</p> <p>2 会長・委員挨拶、地域の状況等共有</p> <p>3 学校評価部会（保護者・教員・生徒年間アンケート結果）について 副校長より報告</p> <p>4 学部の取組について報告 (1)防災部会 (2)切れ目ない支援部会 各グループリーダーより報告</p> <p>5 協議</p> <p>保護者・教員・生徒アンケートについて</p> <p>[司会者より] ・年間アンケートはいつ実施したのか。</p> <p>[事務局より] ・1月に実施した。</p> <p>[委員より] ・業務改善について、職員から不満、やや不満が多いようだが、何か改善策は考えられているのか。</p> <p>[事務局より] ・小規模校で限られた職員数に加え、産育休代替の職員が見つからない状況が続いているため、学年の職員が業務を負担している。代替職員を配置して欲しいという声になかなか応えられない。全県的な課題にもなっている。</p>	

- ・一方で、勤務状況を見ていると、見通しをもって計画的に仕事を進めている職員もいればそうでない職員もいる。仕事の進め方については職員に考えさせていきたい。

[司会者より]

- ・業務を精選することと、上手に仕事を進めていく人のノウハウ等を共有できれば良いのではないか。
- ・広報の方法や情報発信についてはどうか。

[委員より]

- ・我々の施設では、フェイスブックで発信している。そのようなツールの利用も有効ではないか。

[委員より]

- ・卒業生を受け入れているが、まだ間もないため、職場の環境整備に取り組んでいる。

[委員より]

- ・我々の施設は、福祉的就労という形態である。市内の支援学校の進路状況の報告を、今後受けることになっている。受け入れる立場として、支援学校からの幅広い進路状況の報告が欲しい。

[司会者より]

- ・組織的な支援にも取り組まれているようだが、保護者の不満への対処やうまくいかなかった事例があればうかがいたい。

[事務局より]

- ・保護者の要望が、県の規定に照らすとどうしても応えられない場合があり、不満を持たれるケースがあった。今後も迅速に丁寧に対応していきたい。

[委員より]

- ・学校からの通知文は、しっかり伝えていただいているため気にならないが、何分、情報量の多さを感じるため、全て見切れないことがある。

部会の取組について：防災部会

[委員より]

- ・地域では高齢化と無関心が進んでいる。来る人はいつも決まっていて少ない。あまり無理を言えないのが現状である。3月で役員の任期を終えるが、次年度以降の役員は若い人が多い。平日に勤めがあり、このような日中の会にも参加が難しいと思う。
- ・去年実施した花植えに参加したが、とても楽しかったという意見があった。また声をかけて欲しい。

[司会者]

- ・地域の孤立化が問題になっている。能登の例もそうだが、高齢化も深刻化しているように思う。

[委員より]

- ・災害が発生した時に、この学校は避難所になっていないのか。

[校長より]

- ・本校は土砂災害危険地域になっており体育館とグラウンドのみ一時避難所となっている。

[委員より]

- ・小学校も体育館は土砂災害危険地域になっている。何かあれば校庭での引き渡しを行う。雨であれば教室でと考えている。各フロアの空き教室の活用を考えている。
- ・数年前の台風では、避難所となった。教育活動を行いながら、避難所として使用することも念頭に入れていく。

[委員より]

- ・公民館は危険地域である。地域住民は、いざとなれば学校が使えるのではと思っている。ただ、これまでも述べてきたように、高齢の住民が多く、孤立地域なので一斉に非難を開始するのは難しい。地域をブロックに分けて非難する方法を考えている。
- ・自治体は、対策が進んでいない状況だ。備蓄品を調べたら、期限切れの物もあった。毛布等も少ない。住民は関心が無いのか、大丈夫だと考えているのかなかなか進まない。

部会の取組：切れ目ない支援部会

[司会者]

- ・地域との交流は、地域在住の委員の働きかけもあり、進んでいる印象を受けた。

[事務局より]

- ・花植えについては、予算もついたので具体的に進めていこうと考えている。詳細はこれから検討していく。山椒の木に関わる作業については、関係者と進めていきたい。

[委員より]

- ・地域には地場産業が少ないため、働ける場が無い。山椒の摘み取り袋詰め等は仕事として成り立つのではと期待している。

[委員より]

- ・学校に協力して一緒に作業ができればと考えている。

- 6 学部・グループの年度末評価について
各学部長、グループリーダーより報告

- 7 協議

[委員より]

- ・肢体不自由の児童・生徒の意思表示について、引き続き取り組んで欲しい。
- ・相模湖の管理事務所の対応が親切だった。地域と関わっていくことは大切である。

[司会者より]

- ・サインについても活用のつながりができて、地域でも活用されれば良いと思っている。

[委員より]

- ・コロナ前には学校ではバザーをやっていた。学校と地域とつながり、人が一番集まっていたように思う。もう、そのような機会は無いのか。

[校長より]

- ・そのような機会を作ればと考えている。校内では喫茶班等の作業班も活躍しているが、お金の道筋がどうなっているのかを検討する必要がある。ぜひ進めたいと思う。

[司会者より]

- ・お金については工夫して運営している学校もある。アイデアを生かして活性化を図ってもらいたい。

[委員より]

- ・以前、学校で施設の物品の販売をさせてもらったことがある。お金のやりくりも工夫できるのではないかと考えている。技量の高い教員がいれば品質も上がる。材料等も協力させてもらいたい。

[委員より]

- ・食育に関わることで、給食中の窒息事故があった。この学校では誤嚥に対する事故防止はどのように進んでいるのか。

[校長より]

- ・事故を踏まえ、本校の栄養士から注意喚起と手元調理について職員へ周知がされた。養護教諭と窒息を起こしやすい食材についての検討も行われた。まずは、窒息をさせない指導が重要であると考えます。

[委員より]

- ・我々の施設では、うずらの卵は切って提供している。市販のフライドチキンを他人の口に入れたという事故があり、気を付けているところである。

[司会者より]

- ・小・中学部段階で身に付けて欲しいことについてうかがいたい。

[委員より]

- ・とにかく、生活上必要な基礎力を身に付けて欲しい。文字を書く、時計を読む他、人との関わり方も身に付けてもらいたい。

[司会者より]

- ・高等部卒業後の社会に出るにあたって必要なことは何か。

[委員より]

- ・自立に向けて垣根を超えた、時代を超えた支援が必要と考える。

[委員より]

- ・自立支援の立場からすると、企業就労する育成までいかない実態もある。力が十分無くとも、その人ができることに合わせた働きができるようになればよいと思う。

[委員より]

- ・様々な仕事の中から、本人にできそうな仕事を任せるという捉え方で進めている。ただ、障害のある方を受け入れるにあたり、社内でも試行錯誤しながら進めている状況であり、人的環境と物理的環境のそれぞれの整備を進めなければならない。

[委員より]

- ・障害を開示する場合と、開示せずにあるのまを見てもらって評価してもらおうという考え方がある。開示しない場合は、作業効率や集中力、出来栄等について障害があることを理由には出来ない。

[委員より]

- ・そのような場合、就労定着支援にはどのようなせていくのか。

[事務局より]

- ・学校の進路担当が、定着支援にあたっている。就労援助センターにも登録して、職員に同行していただく場合があるが、3年間は学校が中心となって取り組んでいく。

8 校長挨拶

皆様のご意見・ご提案に感謝しています。前任校は大規模校で組織的な学校運営をめざしておりました。本校の良いところは地域との関わりの中で学校教育が行われていると感じるところです。小希望校なので、職員数も限られており、業務の負担感を感じるかも知れません。今後もより機動的に組織を動かす必要性を感じています。

総括教諭が前向きに取り組み、今回の成果につながっています。まだまだの部分もありますが来年度さらにも変わっていったら良いと思います。コロナ感染症が第5類に移行され、コロナ前に戻すのか、新たな形に変えていくのか継続的な検討が必要だと思えます。皆様のお力で授業改善が進みました。今後もお力添えいただけたらと考えます。よろしくお願いいたします。

【配付資料】

- 令和5年度 第4回学校運営協議会 開催要項
- 令和5年度 学校運営協議会 委員名簿
- 令和5年度 学校評価報告（目標設定）
- 令和5年度 学校評価（年間評価）保護者・教員・児童アンケート結果
- 令和5年度 各学部、グループの年間評価
- 令和5年度 つくいだより（NO.7～NO.10）

